

# NEWS LETTER

■ なんばた グールグル ■

Vol.12

2022.3

北京冬季オリンピックのテレビ観戦で、雪景色を見慣れていましたが、3月を迎え、春らしさを肌で感じる季節になりましたね。今年は桜の開花が例年よりも早くなるとの予測もあります。南畑の桜と菜の花の競演は、色鮮やかで感動します。散歩をしながらお花見することが今から楽しみです。さて今回の TOPICS は、この方々です。なんばたグールグルで地元の魅力を再発見！

今月の TOPICS P1: 堀江 由加さん トヨさん P2: 新井 幸枝さん

お客さまとの  
会話が楽しい

ホリエ理容室

堀江由加さん・トヨさん

ほりえ ゆか・とよ



お店は、昭和55年に母(トヨさん)が始めました。開店当時は、駐車場用地として畑の一部を貸してもらったなど、地域の方に助けていただいたそうです。そして今度は自分の番と、PTAなどできる範囲の活動で地域と繋がってきました。

私(由加さん)は結婚して子どもが生まれたあと、理容学校に通いました。子どものころ鍵っ子だった経験から、働くのであれば、子どもが学校から帰ってきたら親がいる環境が作れる自営業が良いと思っていました。実母も理容業だったので、相談する相手が身近に2人もいて、子育てとの両立も苦ではありませんでした。でも一番は、夫や家族の理解があったからだと感謝しています。坂戸の理容学校で学び、その後インターンや実家近くの理容室で働き、平成8年にここで母と

一緒に働き始めました。

今の建物は、平成7年に建て替えたものですが、お客さまにお待ちいただくスペースは、広々とした空間でゆったりとお待ちいただこうと、2階までの吹き抜けにしました。お客さまに「リラックスできて疲れが取れて良かった」と言っていたことがとても嬉しいです。2年前に母が仕事を引退してから1人で対応するため、予約制にしました。お客さまの待ち時間が少なく、コロナ対策にもなっているかと思います。

母が苦勞して築き上げたこのお店は、常連の方も多く、いつも笑い声で溢れています。だから長く続けられたらいいなあ、と思っています。ゆくゆくは、みなさまが安心して利用できるバリアフリーのお店にするのが夢です。

ゆっくりと心休まる時間をご提供します。ご予約の電話お待ちしております。

☎ 8:00~19:00 (受付は 18:00 まで) ㊟月、第2・3火  
■ 上南畑 2546-6 ☎ 049-251-5988

※撮影のためマスクを外しています







手づくり味噌がふるさとの味に

(株)手づくり村  
**新井幸枝さん**  
あらい さちえ



主にみその製造販売を行っており、米こうじ・富士見市産の大豆といったみその材料、南畑産の米の販売もしています。小松菜やみそが入った「富士見ぎょうざ」と季節の地元野菜はとても人気で、開店するとすぐに売れていきます。

みそ作りは、国の減反政策で大豆作りを始めたのがきっかけでした。旧農業センターでみそ加工にチャレンジし、平成元年4月に手づくり村東大久保農産加工組合を設立し、県と市の補助金を得て今の場所に作業場を作ってみその製造販売を始めました。父が加工組合長だったこともあり、私は忙しいときに手伝っていましたが、平成10年に父が他界してから本格的に業務に携わるよ

うになりました。その後、出資者で株式会社化したのが平成22年のことです。

天然醸造のため、出荷まで1年かかります。今は甘口みそ(白)と赤みそを7対3の割合で、年間10トン製造しています。お客さまに、「このみそじゃなきやダメなの」「たまに浮気するとダメね」なんて言ってもらうと、手間暇かけて作った甲斐があり、とても嬉しいです。

将来的には、みそを使ったおにぎりのような、その場ですぐに食べられるテイクアウト商品を作りたいです。そして、目の前のびん沼自然公園で、四季の移ろいを感じながら気軽に食べてもらえるといいなあって思っています。

市内の学校給食や保育所でも使用されている手づくりみその良さを、より多くの方々に知っていただきたいです。気軽に入れるお店ですので、ぜひお立ち寄りください。

びん沼直売所 ☎ 10:00~15:00 (休)月  
 東大久保 3732 ☎ 049-255-1133



■ なんばた グールグル掲載希望者募集 ■ 掲載料は無料です

◎農業 ◎商業 ◎工業 個人事業主 OK!  
 EX)飲食店、食品販売店、農産物直売所、観光農園、園芸店、工芸店、薬局、建築関係  
 自動車整備関係、理容院・美容院、コンビニエンスストアなど

■ 南畑地域まちづくり協議会とは…? ■

地域の少子化を危惧し、南畑住民有志が中心となって、平成21年に発足しました。豊かな農地を残しつつ、住民が安心して住み続けられるまちづくりを目指しています。様々なまちづくり活動を展開していくことで、住みよい地域を自分たちの手で形成していきます。

■ 農バルプロジェクトとは…? ■

南畑地域の活気と賑わいを作り出すため、南畑地域の食と農を中心とした事業者のネットワークをつくり、農業・商業等の活性化を図るとともに、地域の特色を楽しみながら、地域内外の市民に南畑の魅力を知ってもらう事業を作り出そうという新しいプロジェクトです。

農バルとは、南畑の特徴である『農ある暮らし』と『バル(人々が集う場所)』をイメージしたものです。

